

平成29年度第4回社会教育委員の会議

平成29年8月25日(金)

午前9時30分開会

開催日時	平成29年8月25日	開会 9時30分 閉会 11時00分	
場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室		
出席委員	議 長 原嶋 和男 副 議 長 柴田彩千子 委 員 大久保美千子 委 員 石田 静子 委 員 城 瑞枝	委 員 小山田佳代 委 員 原田 隆司	
説明のため出席した者の職氏名	生涯学習部長 西田 剛 生涯学習課長 内田 雄介 図書館長 菊池 幸子		
事務局	生涯学習係長 小堀久美子 生涯学習係主事 小佐野七香		
傍聴者人数	0名		

日程	議 題	
第1	協 議 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 会議録の承認について (2) 生涯学習支援センター機能について (3) 第28期社会教育委員の会議のまとめ (4) 第3次小金井市生涯学習推進計画の評価について（平成28年度分） (5) その他 <ul style="list-style-type: none"> ①青少年のための科学の祭典について ②その他
第2	報 告 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第48回関東甲信越社会教育研究大会の参加について (2) 図書館本館の長期休館について (3) その他

原嶋議長 今日、古家委員と長坂委員はご欠席ということで連絡が入っております。佐野委員はまだなんですが、時間が来ましたので始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、部長さん、何かありますか。よろしくお願いいたします。

西田生涯学習部長 本日もよろしくお願いいたします。

こちらの会議もそろそろ終盤ということで、まとめの作業に今日も入るかなと思っておりますけれども、どうぞよろしくお願いいたします。突然、また暑くなってきましたけれども、体調管理には十分ご注意いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

原嶋議長 それでは、次第に入ってよろしいですか。会議録の承認については、皆様方にいろいろと問い合わせ等々あつての結果になると思いますので、ご承認をいただけますでしょうか。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

原嶋議長 では、承認されたということで、ご苦労さまです。

続きまして、生涯学習センター機能についてということで、これが私どもの最後の期でいただいたテーマでもあるわけです。おととい、小委員会の5名の方が1時に602、この庁舎に集まっていたいてお話を進めてまいりました。それで、私のほうで口頭で、こんな方向で進めさせていただいたらどうかということをご提示していきたいと思います。文章を拾ってきたものがありますので、それを読ませていただきたいと思います。

小金井市生涯学習支援センター機能の充実についてということで、23ページのこれは、生涯学習の推進計画を指しています。今後の方向性にある生涯学習支援の充実に向けて、インターネットサーバー内でウェブサイトの検索機能を活用した情報集約、共有、提供ができるようにするにはということで主に話し合いを数度重ねてきたわけです。これは事実であります。このことについて、話し合いを重ね絞り込んできたということでもあります。今まで、本件について社会教育委員の会議を持ったわけですが、その委員の中のご発言や、あるいは狭山市の図書館を訪れたり、「まなびいネット」、他の自治体のホームページ等々を参考にしながら進めてきたわけです。それを背景にして、小委員会の報告をさせていただけたらと思っております。

小委員会の方々には、私の報告が足りない、補足、修正等がありましたら遠慮なく、後ほどよろしくお願いいたします。

目的的には、いつでも、誰でも、どこでも学びにアクセスできる環境を市としてしっかりと保障する視点が必要です。これは柴田委員からお言葉をいただいたんですけれども、できることから始める。最初は公的な社会教育施設、私どもが社会教育に携わってい

ることから、さまざまな講座と学校関係、大学関係の教育機関での学びの機会、それから、登録されている社会教育関係団体から情報を集約して、公開していくことから始めてみるのが現実的なところではないか。そのいろんな改善点、他の自治体のものを参考にしながら進めていけたらどうでしょうか。この情報伝達の仕組み、やり方が市民に広まっていけば、さまざまな自主的な市民活動のほうにも、ここに情報を掲載したいというような要望も出てくるのではないか。まずは、委員のほうでは5名の方々が、やってみよう、と、せっかく小堀さんもここにかなり携わって、入り込んできたわけです。この中身につきましては、後ほど小堀さんからも多少の修正を加えながら、もう一度ご説明があるのではないかとこのように思っています。

ただし、委員の中からもご提示があったのが、あるいは部長さんの助言もありまして、次のような文章もつけ加えられればというふうに思っております。生涯学習として、委員の方から観点という基準みたいなもの、何かある程度は共通にしていく必要があるのでは、生涯学習って何でもありという状況になっちゃうのでは、我々小金井市としてはきちっと位置づけをして、どういうものを生涯学習として取り扱い、重点的にやっていくのか、こういうことを、やっぱりはっきりしておく必要があるのではという助言をいただき、これは次の期の方に、もし、こういうことをやっていただければ助かるということなんです。

もう一度言いますと、現実的に進められるところから始めてはどうだろう。一方で、生涯学習について、ある程度の共通認識が必要である。この期の中で全て話し合いができなくて申しわけなかったんですけども、次へのご提示になるのではないかとこのように思います。

長々としゃべってすいません。柴田委員のほうからありますか。

柴田委員

そうですね。先日の小委員会でも話し合ったことなんですけれども、理想としては、ホームページを開いたときに1つクリックをして、例えば子育て支援ならば社会教育施設でやっている講座も、それから、子育て支援にかかわっている部局がやっている講座、さまざまな市民組織がやっている講座なども一覧として情報をもらえるのが理想的ということは、皆さんももちろん承知していたところなんですけど、やはり現実的なところとして、まずは公的な社会教育施設で行われている講座を、市民の方たちにしっかり一覧としてお届けするところから始めてみようというふうに合意したと理解しています。

原嶋議長

ありがとうございました。

小委員の人で、あとつけ加えていただければ。どうぞ。ありますか。

原田さん。

原田委員 いや、特にありません。

原嶋議長 よろしいですか。

原田委員 はい。

原嶋議長 小山田さん。

小山田委員 特にありません。

原田委員 ちょっと質問ですが。

原嶋議長 どうぞ、はい。

原田委員 何かこれは、文章として次期に引き継ぐとか、そういうことになるんですか。今、その文章にまとめられたようにお話しされましたけれども。

原嶋議長 必要であれば直しますけれども、そこまで考えていなかったものですから。口頭でということですよ。

原田委員 そうですか。議事録で残るとのことですね。

原嶋議長 残りますね。

原田委員 はい、わかりました。それで結構でございます。

原嶋議長 それじゃあ、前回、小堀さんのほうから、資料1でよろしいですか。

小堀生涯学習係長 はい。

原嶋議長 これについてのご提示をもう一度、少しずつ工夫されて、また今日に至っているようですから、ちょっとご説明を加えていただきながら、委員の皆様からも何かご要望等々がありましたらよろしくお願ひしたいと思います。

では、小堀さんのほうからご説明お願いします。

小堀生涯学習係長 資料1をごらんいただいて、前回配ったものとそれほど大きくは変わっていないんですけれども、先日開かれた小委員会のときに、理想としてはさつき柴田副議長がおっしゃったような内容かとは

思うんですが、今できるところからというところで、社会教育団体について記載だけではなく、例えば「まなびあい出前講座」とかそういったものも見られたらいいんじゃないかということでお話をいただいて、「まなびあい出前講座」は別のところから入って見られることにはなっているんですけども、それだと知っている人しかたどり着けないような形になってしまうかもしれないので、これはあくまでも体裁として、こういう形もあるかなということでつくったものなんですけど、ほんとうは狭山市さんのようなものを思い描くところもあるんですけども、一応、そういう団体の紹介であったり、事業の紹介であったり、ちょっと難しいんですが、イベントというかカレンダー的なものは、どういう方法でとかやり方もあるんですけども、そういったものを生涯学習情報コーナー、これは仮称というか、ちょっと名前はあれですけども、そういったところをクリックしたことで進んでいく、展開できていくというようなものをイメージしてつくりました。

後ろについているPR用紙は前回配ったものと特に変わっておりませんで、こういうものを団体の方にいらしていただけたらどうかと、これはそのままつけております。

以上です。

原嶋議長 ご苦労さまです。「まなびあい出前講座」等々もつけ足されたということですね。

今、こんな方向で進めたいなというご提示があったわけですけども、ご要望等ありますでしょうか。

大久保委員 すいません、よろしいでしょうか。

原嶋議長 どうぞ。

大久保委員 このクリックしてという順番なんですけれども、生涯学習情報コーナーの後に社会教育関係団体等とか生涯学習課主催事業等というかたい名称というか言葉があって、その次に具体的なものが出てくるというのは、分類上、仕方がないことだと思うんですけども、これが先に来てしまうと、こういうことに疎い人に知ってもらいたい情報なのにちょっとわかりにくい。どうしたらいいのかわからないんですけども、ちょっとわかりにくいかなというのが、今、気になりました。

原嶋議長 何だろうなと思う人も。

大久保委員 何だろうなと思って押してくれば、また出てくるんですけども。

原嶋議長 出ちゃったっていう感じ？

大久保委員 そう、何だろうなと思って、飛ばしちゃう人は飛ばしちゃうかなと思って。

原田委員 これ、あれですよ。今の段階では、概念図だからかたい言葉だけれども、実際にやる時には、最初のクリックで出てくるのは、どんな団体があるんですかとか、あるいはどんな講座をやっているんですかというように。

大久保委員 ええ。もう少しやわらかくて、何か興味を引くような言葉に変わっていたらいいかなと思いました。

原田委員 これ、かたい言葉でなければいけないということはないんですよ。

小堀生涯学習係長 これをつくったときも、サークル・団体情報とか、もうちょっと違う言葉で一旦つくってはあったんですけども、もしかしたら実際に最初につくるときに載せられるのがこれだけなのかなと思って、ちょっと言葉を変えてしまいました。ただ、ここはこういう言葉じゃなきゃいけないとかそういうことはなくて、きちんと伝えることで、なおかつ皆さんが見てわかりやすいという表現のものであればいいと思います。これはあくまでも記載例です。

大久保委員 そうですね。それはもちろん。

原嶋議長 今のご提案はいいですね。市民として入りやすい言葉があればね。

原田委員 そうですね。

原嶋議長 そのほかありますか。

石田委員 はい、石田です。

原嶋議長 どうぞ、石田さん。

石田委員 何がしたいですかという疑問がどこかにあって、例えば子育てがしたいとか、そういうふうにもルートが進められるようにすると、やわらかい言葉というんですか、ちょっと入りやすいかなという気も今しました。

原嶋議長 今みたいなアドバイスというか助言、要望等ありましたら続けてお願いしたいと思います。

それと並行して、じゃあ後ろのほうは、これはいいですね。このまま全部前にといい感じで。小堀さん、後ろのページはいいですよ。こんなふうにして情報を集めるんだということ。

小堀生涯学習係長　そうですね。団体のPRをA4の1枚ぐらいで、皆さんにお伝えできる写真でも言葉でも絵でもいいですけども、書いていただいたものをホームページに載せるとか、あとは7階のところに束ねて置くとか、そういう形で入れられたらいいかなと思っています。

原嶋議長　これについてもどうぞ。もし、こんなこともつけ加えたほうがいいんじゃないかというような。

大久保委員　すいません。

原嶋議長　どうぞ。

大久保委員　この活動内容PRなんですけれども、先日もお話が出ましたので、これは前回と変わらないものが出てきているんですが、例えば活動場所だったり何だったりというものがあつたらいいなというようなお話が前回あつたと思うんですが、そういうのは、おそらく載ってくるだろうと考えてよろしいでしょうか。

原嶋議長　総称して、ご案内というところに入ってくるのかもしれませんが、こういうところでやっていますよとか。

小堀生涯学習係長　そうですね。皆さんに書いてもらう部分で自由に書いてもらう中の一つと考えるか、活動場所というところは情報として大きい情報だから、やっぱりあつたほうがいいということですよ、言っていたいたということとは。

大久保委員　そうですね。活動場所については、大きいというのはあるんですけども、先ほど石田委員からもありましたように、今は目的で選ぶとか、そういう細かい動きとか指定とかができないとしても、将来的にそういうことを見越すならば、場所だったり活動分野はあるんですけども、何か想定できる範囲で、ある程度決められた属性、自由に書いてもらう部分と、あと、やっぱり検索キーワードみたいな感じで、最終的になるであろうものというものも、ある程度想定して入れておいたほうが後々役に立つかなと。実際に、見た目として見えても全然おかしくないものだとは思っているので、あるといいのかなと思いました。

原嶋議長　はい。

原田委員 今のご指摘、賛成なんですけれども、これ、今回出してもらうことで後々ずっと使えるようにするためには、おっしゃるように、検索できるように項目をはっきり分けて書いてもらったほうがいいかなと私も思いました。

小堀生涯学習係長 はい。

城委員 すいません、私も調べるときにこれはどこにあるんだろうというのを見て、私は東小金井のほうなので、武蔵小金井か、東小金井のはないかなとか思って探すので、場所がくると結構わかりやすいかな。小さいお子さんを持っていらっしゃる方は特に、近くにあるのはどこだろうというのを検索されると思うので、場所があるといいかなと思います。

原嶋議長 どうぞ、今みたいので。

石田委員 何月何日現在という情報の日付を入れておかないと、古い情報は団体のほうから更新要求がくれば更新できると思うんですけれども、それがなければそのままですね。

原嶋議長 潰れていたりしたら。

石田委員 それに、活動が終わっていてもそのままになっていたりすると思いますので。

原嶋議長 更新日というか、日付を入れるということですよ。

石田委員 はい。

柴田委員 では、よろしいですか。

原嶋議長 どうぞ、お願いします。

柴田委員 資料1の表の最初にクリックするところで、2番の2をクリックするところ、生涯学習課主催事業というところなんですけれども、この中に公民館とか図書館などで行われている講座一覧が出てくるというイメージでよろしいのでしょうか。

小堀生涯学習係長 今は、あえて生涯学習課と入れているのは、これまでの生涯学習課でやっている事業をここで見られるように、皆さん、今までの話し合いの中でも、やはり公民館の事業であったり、図書館の事業であったりというところがあったかと思うので、本当はもうちょっと違う体裁にして全てのところに入れるように。そこまで実際に

いろんな部署とのやりとりをしていないところもあるので、今の段階でできるものを載せてみたんですけども、これでなければできないというところではなくて、ご意見をいただいた中で、ここに、じゃあ公民館、図書館の情報を知られるようにということ、それは物理的にできないのか、何かしらの障害があってできないとかあれば別ですけども、ちょっとまだやりとりはしておりませんので、そういうものができて成り立つというか、コーナーとして実になるということがあれば知らせていただいて、こちらのほうでいろいろ調整してみます。今のところ、ここに書いたものについては、このとおりに生涯学習課が事業を、そこから派生させて見られるようにしているというようなイメージです。

柴田委員

わかりました、ありがとうございます。それであるならば、ここに今現在書かれている講座のほかに、例えば東分館とか貫井北分館とか、こういったところでも講座があるというような情報を見た人が、ホームページに1人で自主的に検索できるような導きというんですか、そういうことをするのもいいのかなというふうに思います。とりあえず、この2の中に公民館の講座一覧を入れるまでの期間というんですかね。

大久保委員

すいません、よろしいでしょうか。
今、1番目のクリック、社会教育関係団体とか書いてあるところなんですけれども、このとおりにいくと、社会教育団体事業等というところに裏のPRデータが幾つもあるようなイメージなんですけど、それはそれで感覚的にはいいんですけども、裏のデータとしては、PR用紙を書くそれぞれの団体の人に対してはこれでいいんですが、データとしては、生涯学習課の事業なのか何なのかという情報がPR用紙のデータにあるのがいいのかなと思います。そのうち、それぞれまた別の検索条件で選んで、そのデータを見たときに、じゃあこれはどこの事業なんだという、データを見て、これはどこの事業なんだと見えるようになると思うので、PR用紙の中にどこ主催の事業だというのが必要であれば、そっちにもその情報があつたほうがいいのかと思います。

小山田委員

質問ですが、スケジュール的にはこれ、実際、小堀さんとしてはいつごろに具体化する予定でございますか。

小堀生涯学習係長 もしかしたら、会議の中で何回もお伝えしたかもしれない。ちょうど社会教育関係団体については3年間、27年度から29年度までが団体登録の期間になっておりまして、30年度にまた登録をし直していただくというか新しく登録をいただく形になりますので、その通知とご連絡等を差し上げるときにこのPR用紙も完成させておいて、こういったものをインターネットに載せたいとか、そ

ういったことを含めて団体の方にご連絡をしたいと思っておりますので、2月の市報に載せて、3月から登録を受けるような形になるかと思うんですけれども、そこまでにPR用紙も完成させて、こちらの生涯学習情報コーナーの形も、それが集まる時期に合わせて、来年度行うときに、今できるところでということでしたらいいと思っています。

原嶋議長 今の質問、よろしいですか。

小山田委員 はい。

原嶋議長 ほかに。あんまり時間を設けちゃうと要望ばかり出て、これから大海に出ていくような仕事なので。考えた職員の方の中で、大変だなという感じもしますよね。

小山田委員 そうですね。時期的に、また次の期でも継続で。時期が2月募集であれば、次の期でも少し内容を検討、継続を依頼しておくということではいかがでしょうか。

原嶋議長 小山田さんのほうで、無償でパソコン入力、データ入力とかは。

小山田委員 いやいや。

原嶋議長 そういう、今度はボランティア人材もまた広く求めていかなくちやいけないのかもしれませんが。顔が広いから、頼ってください。これだけでも大変だな。データを集めるだけでも。議題の(2)、まだいろいろご要望、その他あると思いますけれども、一応これでおしまいにしてよろしいですか。

(「はい」の声あり)

原嶋議長 それでは、(3)の28期社会教育委員の会議のまとめということで、小堀さんのほうでまとめてくださいました。ありがとうございます。何かありますか。

石田委員 すごくよくまとめてくださって。

小堀生涯学習係長 「第28期小金井市社会教育委員の会議2年間の検討内容」というA4の書類があるかと思いますが、今回はどうしようかというお話を小委員会のときにさせていただいた中で、2年間どういうことをやったかということを残したらどうかというお話をいただいたかと思いますが、2年間の検討した内容を、時系列が多少はずれてしまっているんですけれども、項目ごとに記載させ

ていただきました。会議録等を確認しながらつくってはおりますが、何かご意見とか、こういうことは要らないとか、こういうことを載せたほうが良いということはお話し合いいただければと思います。お願いします。

原嶋議長 短い時間の中でまとめていただいたんですけれども、何か皆さんのほうでありますか。

原田委員 よろしいですか。

原嶋議長 どうぞ。

原田委員 2つあるんですが、1つは文字の修正ですけれども、3つ目の三者懇親会合同会の実施についての2行目の担当「会」と書いてある、これ、1回2回の「回」じゃないですか。これでいいの。

小堀生涯学習係長 言葉にすごく悩んだんですけれども、何ていうんですかね、そっちのほうがいいですかね。言葉にすごく悩んで、担当「課」とは書けなかったんで。

原田委員 担当であったということでもいいのかな。

小堀生涯学習係長 担当で、そうですね。「会」そのものがなくなったほうが。

原嶋議長 三者の担当であったということですか。

小堀生涯学習係長 はい。すいません、ありがとうございます。

原田委員 それから5つ目、最後の生涯学習支援センター機能についての3つ目のところなんですけれども、スペースがもうないんですが、できればさっき議長からご報告があった柴田先生がまとめてくださった、いつでも、誰でも、どこでも学びにアクセスできる環境を整えるという目的は、ここにあったほうがよりはっきりするかなと思うんですが、いかがでしょうか。

つまり、3つ目の丸の2行目「まずは」の前に、いつでも誰でもどこでも学びにアクセスできる環境を整えるということをベースにというか目的にというのかな、あるいは、を指して、まずは今のホームページの中でできるものから始めるということで話が進んだというほうが。

原嶋議長 やや理想形の文章を書いておくということね。

原田委員 ええ。今日ご欠席の委員から、そういうのがあったほうがいいん

じゃないかというご発言があったので、そのほうがいいかなと思いました。いかがでしょうか。

原嶋議長 何とか入りますよね。このA4にはね。

小堀生涯学習係長 そうですね。今回、ここで一旦終わったのでこの幅にしているだけなので、問題ないです。

原田委員 おそらく、次期の会議ではそれについても議論することになるかと思うんですが、一応、この期についてはそういう方向性を示したということがあったほうがよろしいかと思います。

原嶋議長 いいですね。

柴田委員 いいですか。

原嶋議長 はい。

柴田委員 1つ質問なんですけれども、コミュニティスクールについてというところで、文章そのものの質問ではないんですが、小金井市としては今年の4月あたりから小学校段階でコミュニティスクールにするのがふさわしいというような、努力義務化がされていると思うんですけれども、どういう動きになっているのでしょうか。

西田生涯学習部長 具体的に私どもが述べるようなところはないんですけれども、やはりコミュニティスクールという形になると、こちらは学校教育及び生涯学習の垣根が取り払われる部分も出てくるかと思っています。

ただ、現状では、実際に地域力の活用という意味では、小金井市の学校では取り組んでいるところがございまして、それをどういうふう to 今後発展させていくのかということにつきましては、先ほど柴田先生がおっしゃったように努力義務も課されてまいりましたので、今後考えるということを教育長も言明しております。ただ、どういう方向でどういうふう to やっていくかというのは、これからの検討になるのかなと思っています。

柴田委員 わかりました。ありがとうございます。

原嶋議長 この論文というか、検討内容というA4のものについてのみ、今、何かありましたらお願いします。事実の記録でありますので。私も、後でもう一度読んでみたいなと思っていますけれども。

西田生涯学習部長 先ほどのにつけ加えなんですけれども、コミュニティスクール

については、やはり学校の先生方の負担が増えるようなやり方は本末転倒なので、そうならないようにどういうやり方があるかというのを軸に考えていくことになるかと思います。

原嶋議長 なければ、ありがとうございます。じゃ、(3)を閉じます。ご苦労さまでした。

 その次は、前回も出されましたけれども、またこれに基づいてご説明いただけるんですか。

小堀生涯学習係長 はい。

原嶋議長 よろしく申し上げます。

小堀生涯学習係長 前回一度出させていただいた第3次小金井市生涯学習推進計画の評価についてというところで、評価についてが、多少各部署であったり、関係者で考え方がずれてしまっているところがありましたので、そのあたり、もう1回見直してくださいということでお願いしました。

 一部こちらが変わっておりまして、評価の概要というところで書かせていただいておりますが、A評価については平成32年度の目標を達成しているもので、こちらが全体としては5事業、B評価、目標に達していないが26年度の数値を超えているものが8事業、C評価、平成26年度とほぼ変わらないが4事業、D評価、平成26年度より減少しているが2事業、評価なしが3事業となっております。評価なしについては、年度ごとに評価することが難しいというものでしたので、こちらはなしにさせていただいたことと、あと、ナンバー2の生涯学習支援機能の充実、こちら、内容は生涯学習支援事業数なんですけれども、課で分かれていますので、生涯学習課、図書館、公民館それぞれで評価したんですけれども、最終的な評価は、こちらの2番の評価結果については、全体の数をトータルした結果でBという評価をさせていただいております。

 同じく、ナンバー4の子どもの居場所づくりの子ども・若者対象事業数についても、評価シートはそれぞれの課で行っておりますが、評価については全体の数をもとに評価させていただいております。

 それで、D評価がついた2事業については、1つは、図書館において、体系化したことによって事業数は減ったが、事業ごとの回数が増えているものもあり、市民、団体の学習活動を継続的に支援するために事業を続けていくということが書かれています。また、まなびあい出前講座については、内容の大幅な変更がなかったせいか、申し込み状況など、少ない講座が分かれています、全体的に申し込みが減ってしまっていますが、今後新たな団体に講座をやってもらえるよう依頼したり、さらなる制度のPRをしていくということで、利用回数の目標に達するよう努力したいということで書いていま

す。

B評価、C評価の事業についても、それぞれ担当課を中心に関係部署、関係機関と連携しながら課題、問題等の解決に努め、計画の推進に向けて進めていくということです。

以上です。

原嶋議長 ご質問ありますか。ありがとうございます。これは公開されるんですか。わかりました。

ご質問なければ、何かご要望等ありますか。

西田生涯学習部長 すいません、ちょっと補足で。

原嶋議長 どうぞ。

西田生涯学習部長 今後これがどういう扱いになっていくかだけご説明をさせていただきますが、ここで社会教育委員の皆様にも見ていただいて、事務局としての小金井市教育委員会生涯学習課のほうで取りまとめをもう一度、再度調整しながら、社会教育委員の会議の皆様にご意見をいただきましたので、最終的なものをつくった上で、部長職で構成されております小金井市生涯学習推進検討委員会というところに報告を上げます。

ここで承認を得た後に市長に報告をするという流れに今後はなっ
てまいります。ですので、社会教育委員の皆様にご意見を
いただきましたので、考慮の上、反映をしていくという形になって
おりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

柴田委員 よろしいですか。

原嶋議長 お願ひします。

柴田委員 評価の指標が講座の開催数という数で、それが一番客観的なものであろうとは思ひますけれども、例えばD評価がついてる子ども・若者対象事業数とか、出前講座の利用講座数とか、数で見るとDかもしれないですけれども、もしかしたら内容的には、やはり住民のニーズに合致してやるべきものであったということもあるので、Dにするのはどうなのかなと。数で見ると、確かにそうなのかもしれないですけれども。

石田委員 その辺が難しいところですよ。

柴田委員 何か、Dをつけるのがどうなのかなというふうにお願ひしました。

西田生涯学習部長 非常に生涯学習の評価も、学校教育もそうなんですけれども、教育ですとか学習、あるいは文化とか、そういったものに関する評価というのは、非常に実は難しく、量さえ達成していればいいんだというものでもないかなと。

逆に言えば、量が少なければいけないということも言えないような難しいところがありまして、実は、教育委員会全体の教育施策に関する評価というのもやっているんですけれども、そこでもやはり同じような話題が出ました。なので、やはりこの辺のところは、今回、これは生涯学習推進計画において数値目標というのを掲げておりますので、柴田先生がおっしゃったように、やはり数値目標というのは、客観的に見る上で、皆さんわかりやすいという利点もあるんですけれども、逆に言えば、先生が指摘なさったような見えない部分での評価というのが表に出にくいところもあるので、これ、ちょっとどうしていくのか、場合によっては次期の社会教育委員の会議になるのか、その次になるのか、第4次の生涯学習推進計画というのを今後つくられていくことになると思うんですけれども、そのときにもう一度考えていかなければならない課題かなと思っております。

ただ、今すぐにこれをどうすればいいのかという結論が、実は出ないのが現状でして、毎回見ていると、質的に非常に今回充実していたという評価をいただく場合はあるんですけれども、ただ、充実していたというのをどういうふうにあらわして評価に結びつけるのかというところが、非常に、充実していたかどうかというのは、逆に言えば、主観で語られる話になってきますので、何をもって充実していたのか説明をするというのは、感じた方それぞれによって多分説明も違ってくる。講師の先生の説明の仕方がよかったのか、あるいは説明の中身そのものがよかったのか、あるいは講座の雰囲気よかったというのを捉えて充実したと考える方もいらっしゃいますので、それをどう評価に結びつけるのかというのは、非常に、もうちょっと知恵を絞らないと難しいかなと思っています。

ぜひ、今後もお知恵を拝借できればと思っております。

原嶋議長 数字に見えない評価、学校教育なんか、なかなか難しい面がありますよね。

ほかにありますか。

原田委員 今回の関連で、2ページ目の評価方法のA B C Dがどういうふうに関係が決まるかということと、改めて拝見すると、やっぱりDのところは大幅に数値が減少しているという項目が書いてあるので、大幅に減るとDにならざるを得ないんです。例えば、今の議論を踏まえて、ここを少し変えれば、何かただし書きで、内容的に特筆する前進があれば数値にこだわらない場合もあるみたいな、そういうのをひとつ検討していったらいいかなと思いました。

西田生涯学習部長 ありがとうございます。そのとおりで、実は、我々も今考えているのは、プランのところとチェックのところは仕方がないので、ドゥーとアクションのところ、そういうことをどういうふうに書き込むか。要は、数字ではこうなんだけれども、こういう新しい取組をしたとか、好評だったとか、そういうことをドゥーのところ、で、アクションのところ、で今後どうしていくのかというのを見せる中で、数字では確かにDと書いてあるけれども、こういうふうには好評な部分もあるし、今後も発展させようという気持ちがあるというところを見ていただくと、チェックのところだけで評価しないで、評価なんですけれども、見ないでいただきたいということをお願ひできればということをお願ひできればなどは思っております。

原嶋議長

それでは、このこと以外のことはありますか。

なければ、評価について終わりたいと思います。よろしくお願ひします。柴田委員からも、このご質問については部署のほうに課題が残るということをおっしゃっていましたが、今後の課題になってくると思います。

それでは、その他に入ります。青少年のための科学の祭典についてです。これは部署というか、我々が頑張らなくちゃいけないところなんだと思いますので、こちらで進めさせてください。

科学の祭典は9月24日ですよ。その開きは何ページ目にありましたっけ。資料、ナンバーのない資料という、2年間の検討内容の次のところ。色が変わる不思議なフレキサゴン、皆さんがかかわっていらしたということなので、ありがたく思います。具体的な対応になってくると思います。

なお、このフレキサゴンと、これが本らしいんです。そうですね。

石田委員

はい。フレキサゴンの中にいろんなものがあって、私たちのやっているのがこれだった。

原嶋議長

これだったんですね。『M・C・エッシャー カライドサイクル』ということになっているんですけども。

実際に役割分担に入ってしまいたいなと思います。まさしく、我々は実践活動ということになりますものですから。これ、回しますのでごらんください。

23日に前日準備があります。14時ごろから、この前小委員会で打ち合わせしまして、原嶋と小堀さんで、役所のほうに来て顔を出してくださるので、去年ですと30分ぐらいで終わっちゃいますので、やらせていただければと思います。このときに顔を出せるという方は後でメールをしてください。

石田委員 23日の予定を申し上げますか。

原嶋議長 はい。

石田委員 まだ正式通知じゃなくて検討の段階なんですけど、12時から受け付け開始をします。それがN棟の410の前。それは例年と同じで、それから13時からミニシンポジウムということで、できれば各ブースお一人以上の参加をお願いしますということになりまして、13時から大会実行委員長、生尾 光先生、実行委員長から説明があります。そして13時5分から、「圧電素子の秘めたる特性を探る」という城井アソシエイツ代表かな、創造の創に脳と書いた創脳マネジメント研究所所長の方からの話があります。30分間。

それから、13時半から、高校生スタッフについて多摩科学技術高校から話があります。13時35分から中学生ボランティアについて、小金井市の生涯学習課からのお話があります。そして13時40分から準備の方法と注意の説明があります。

13時50分から事故防止と緊急時の対応ということについて、学芸大の広報企画課長からの話があります。そして14時から会場設営です。16時から、前夜祭の懇親会が第2むさしのホールであります。19時までには車両は全部校外に出てくださいということです。まだ入校票とか駐車票は来ていませんが、そのうちまた送られてくると思います。

そして、24日は7時半車両入校開始、受け付け開始です。それで、終了が17時です。17時30分から18時の間が反省会で、車両の出庫終了が19時です。反省会は、N棟の411号室であります。

あと、日程の中はまた。

原嶋議長 石田委員に甘えてはいけませんけれども、石田委員さんは前日もそのところに、事務局ではなくなっただけですけれども。

石田委員 なくなっただけですが、私、仕事が入っているので3時ぐらいでないと行けません。

原嶋議長 そうですか。車両でいらっしゃるの？

石田委員 はい。では行けますね。

原嶋議長 それは顔パスで大丈夫？

石田委員 入校票と駐車票が必要になります。

原嶋議長 そうすると、こちらで何か出さないといけないんですか。

石田委員 ええ。それまでに多分知らされると思いますが、ブースナンバーと、それから名前を書いて守衛所に提出、それで駐車場所も決められると思います。

原嶋議長 そうですか。

石田委員 ただ、前日はS棟とN棟の後ろまで車が入れると思います。

原嶋議長 一応、僕は13時40分に説明会があるようですので、それに伺って、14時から小堀さんと準備に入っていきたいと思います。
あと、荷物等々は、では、石田さんにお任せしてよろしいですか。

石田委員 はい。

原嶋議長 自転車で持っていける範囲じゃないですもんね。
だったら、僕のほうで持っていっちゃう。家が近いから。

石田委員 画用紙とあれで。自転車で、このぐらいの袋に1つで、去年まともりましたから。

原嶋議長 ですね。それだったら、私が持っていきます。

石田委員 自転車で持って。じゃ、その前に体育館に届けばいいんでしょうか。

小堀生涯学習係長 私が持っていきます。

石田委員 では、市役所に届けますので。

原嶋議長 それでは、皆様に24日の日曜日午前、前日1日中でもいいんですけども、ご協力を仰ぐ方、学生さんが、科学総合の方が昨年よりはかなり人数が少ないということは、逆に私どもが動員されるということになるわけですね。その辺のところを頭に入れてください。
それと、下のほうに事前準備、これ1日どこかとならないと、フレキサゴンの対応については厳しいのかなということで、これも皆様から挙手を願って、人数が多いところで進めていきたいなという、両方頭に入れておいてください。

そうすると、9月24日日曜日の午前、午後でご協力いただける方は、遠慮なく言っていただければと思います。

城委員 城です。

原嶋議長 では、城さん。

原田委員 24日、午後でよろしいですか。終日のほうがいいですかね。

原嶋議長 あと、出ぐあいで、どちらかに。

柴田委員 私も24日午前でも午後でも。

石田委員 私は1日いるので、どこか少ないところに入ります。

大久保委員 では、私もどちらでも振ってください。

小山田委員 小山田もどちらでも大丈夫ですけれども、多分朝いたほうがいいのかと思うので、午前中行きます。

原嶋議長 はい、小山田さん。では、城、原田、小山田というすごいトリオですね。

原田委員 私、午後のほうがありがたいんですが。

原嶋議長 そうですか。

原田委員 すいません。

原嶋議長 最初ですから石田さんもいらっしやっただほうがいいのかもかもしれませんね。

石田委員 はい。

原嶋議長 では、城さん、小山田さん、石田さんでお願いします。

石田委員 でも、私、去年はいなかった。受付していたのでいなかったのも、多分ソロプチミストのほうが、人手が足りないと、また受付に駆り出される可能性もあるので、朝一番はちょっとパスさせておいてください。

柴田委員 では、私入ります。

原嶋議長 では、柴田さん、よろしく申し上げます。
確認します。12日の午前は城さん、柴田さん、小山田さん、午後は原田さん、石田さん、大久保さん。で、僕、遅れますけれども、原嶋は片づけのころにまた顔出します。大会があつて、挨拶があるらしいんですけれども、すいません。一応、午後2時ごろ顔を出せ

るかもしれません。遅れて申しわけありませんけれども。

あと、名前入っていないという方は大丈夫ですかね。

それでは、確認することなくていいですね、これで。

事前準備なんですけれども、6、13、20、これは全て石田さんがいないと進まないというところがありますので。

石田委員 すいません、自分の勝手に。水曜日は全部あけていますので。

原嶋議長 この中でご協力願える日、佐野さんにも後で連絡したほうがいいのかもしれませんが。

原田委員 私はどこでも全部大丈夫です。

原嶋議長 オーケーですか。城さんはどうですか。

城委員 私も大丈夫です。

原嶋議長 大久保さんはどうですか。水曜日。

大久保委員 水曜日、午前中であれば確実です。ちょっと、午後の予定がまだわかりませんが。

原嶋議長 小山田さんは。

小山田委員 ちょっと、その日によってわからないので、皆様の都合で決めていただければ。

原嶋議長 石田さん。石田さんは全て日程大丈夫。柴田さんはご都合が悪いということなので、それでは、石田さんが一番この3つの中でベストなのはいつですか。合わせます。

石田委員 どれでもいいです。それまでに準備しますので。皆様のご都合で。

原嶋議長 言っちゃってください、もう。従うということなので。

石田委員 では、6日の午前中に。

原嶋議長 午前に701号室。一般的に、小堀さんごめんなさい、午前というと何時からが望ましいわけですか。

小堀生涯学習係長 部屋自体は8時半から12時でとっているのですが、その中で。

原嶋議長 10時ごろからでいいですかね。

石田委員 10時ごろからでいいですね。

原嶋議長 あまり早くてもね。では、9月6日午前10時から701号室ということで、よろしいですか。

城委員 すいません、持参するものは。

石田委員 目打ちか定規。それと、周りを切っていただくので、はさみ。それだけです。

原田委員 目打ちと定規とはさみですね。

石田委員 はい。

原嶋議長 では、9月6日よろしくお願いします。

石田委員 すみません、昨年、普通ののりと両面テープとセロテープと用意しておいたんですが、何が一番使われたでしょう。私、昨年1日出られなかったの。

小山田委員 両面ですね。

原田委員 両面がよかったよね。

石田委員 両面ですか。じゃ、両面用意します。

原田委員 できるだけ強力な両面で。

原嶋議長 強度があるんだね、粘着の。

原田委員 ええ。ちっちゃい子の指でやってもだめなんです。力弱いから。だからなるべく強力なほうが。

石田委員 なるべく強力な。普通の売っているのじゃだめなんですかね。

原田委員 だから、張って剥がせる両面みたいなのはだめなんです。よくあるでしょう、ポスターなんか剥がせるやつ。それはちょっと弱くてだめなんです。

石田委員 だめ？ 封筒や何かに張るような、ああいうのがいいですね。

原田委員 そうそう。そういうのがいいです。

原嶋議長 そのほか、つけ加えることありますか、ほかの方で。
それでは、9月24日、その前の9月6日、よろしく願いいたします。
では、青少年のための科学の祭典については終わります。ご協力
よろしく申し上げます。
その他でありますか。何か今日、市のほうが1つあるんですか。
ほかにありますか。
質問していいですか、生涯学習部のほうに。私も、小金井市の市
政は疎いんですが、蛇の目ミシンの跡地が市役所になるというのを
伺っているんですけども、この前狭山市に行ったときにも、駅の
近いところで情報コーナーとか、閲覧できるというのをイメージさ
れているような、中身の発注というのはあるんでしょうか、スペー
スの。

西田生涯学習部長 ちょっと、おっしゃっていることがわからないんですけども、
要するに、そういうスペースが新庁舎の検討の中でどうなっている
んでしょうかというところでしょうか。
まだ、これから固めていくんじゃないかと思えますけれども。

原嶋議長 そうですか。

西田生涯学習部長 ただ、まだ今現実にあるスペースではないので、新庁舎をつく
るときに、必ずそのスペースを考えてつくってくれるということは、
現状ではないです。

原嶋議長 まだ先の話ということですね。

西田生涯学習部長 先の話と言っても、もうそろそろ。

原嶋議長 そうですか。

西田生涯学習部長 ええ。そこまで先でも、実はないので、平成33年竣工で
すので、もうあと4年後には建っているということなので。

原嶋議長 内部の全体の企画とか、そういうのは何課というか、何部が。

西田生涯学習部長 企画政策課です。

原嶋議長 企画政策課がやっているんですか。

石田委員 要望というのはいらないんですか。

西田生涯学習部長 ですから、社会教育委員の中で今までもんでいたような話もありますので、今、スペース的な話はちょっと置いておいて、ホームページの話に集中していましたが、こんな話が出ていたということが実際に今ご質問ありましたので、何もしていないということにはならないのかなとは思いますが。

次期の委員さんとか、9月から始まる新しい委員さんの中でこの話も出てくることもあるのかもしれないとは思いますが。

原嶋議長 まだ不確定要素がかなり多いということなので、次の方に残しておきたいなと思っております。

今の件はよろしいですか、その他ということ。

では、次に行きたいと思っております。報告です。関東甲信越社会教育研究大会の参加で、これは結構間近に迫っているんですけど。

小堀生涯学習係長 全員の方にお配りしておりませんが、部数が限られておりまして、ちょうど期が入れかわるところですので、大変申しわけありませんが、次の期に継続される方にだけ配らせていただいているんですけども、第48回関東甲信越社会教育研究大会が11月16日、17日に開催されます。こちらの申し込みの締め切りが9月15日、新しい期の方の第1回の会議の日になりまして、当日になってしまうんですけども、事前に、新しく委員になられるこちらにいらっしゃる方以外の方にも事前送付はさせていただいて、こういったものに参加してみたいかどうかということでは聞かせていただくつもりなんですけれども、去年は佐野委員と原嶋委員が行っていただいたかと思うんですけども、資料等を見ていただいても、もし今年度、日程も合うし参加したいということで思われる方いらっしゃいましたら、どなたが行かれるかの決定はぎりぎりですけども、次の会議の日になるかと思うんですけども、ちょっと見ていただければ、内容等、行ってみたいとか興味があるということがありましたら、私に一報を入れていただければと思います。よろしくお願ひします。

原嶋議長 では、報告ですね。残られる方には配付されているものがあると思いますので、ご検討していただければと思います。

この件について、ご質問ありますか。

なければ次に行きます。

原嶋議長 図書館本館の長期休館。お願ひします。

菊池図書館長 図書館本館の空調設備改修工事が始まっているところですが、9月から開架フロアの工事が始まることから長期休館とさせていただきます。休館期間は9月1日から来年1月5日までの約4カ月間

になります。

本館が休館期間中は、本館隣の別館を9月2日から臨時窓口として開設いたします。臨時窓口でご提供できるサービスでございますが、新刊図書の貸し出しですとか、予約の受け付け、貸し出し、返却、新聞・雑誌の最新号などの閲覧、利用者登録などになります。スペースの都合上限られたものとなりますが、ほかの図書館施設は通常どおり開館しておりますので、各館の連携を図りながら市民サービスに努めてまいります。

既に市報や図書館ホームページ、あとは館内掲示ですとか、本館ではチラシ配布を行っております、市民周知を図っております。8月19日と24日に市民説明会を行いまして、臨時窓口のサービス内容をご説明させていただきました。長期休館となりますので、市民の皆様には多大なご迷惑とご不便をおかけすることになりますが、今後も丁寧な対応で進めてまいりますので、何とぞご理解、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

報告は以上になります。

原嶋議長

ありがとうございます。ご質問ありますか。ないですか。

それでは、次に行きます。その他に入ります。資料の配付、皆さんで確認しながら進めさせてください。

今、「図書館だより」、館長さんのご説明のものが終わりました、「月刊こうみんかん」、これは後ほどお読みください。趣意書というのがあります。

あくまでも、これは寄附金ということで、ご本人のお考えに基づいてやってくださいということです。

この前、理事会に出まして、どのぐらいお金が集まったんだというご質問があつて、360万円近く善意が寄せられたというものがあります、全国から寄附が。

あとは、特に皆さんにお伝えすることはなかったです。また新たな期から、例えば5ブロックがいつ会合があるとか、多摩の研修大会がいつあるとか、そういうのは次の期からのバトンタッチになるんじゃないかと思います。よろしく願います。

それでは、報告のその他、ずっと私も羅列的に言いましたけれども、皆さんのほうのその他はありますでしょうか。願います。

小山田委員

今週23日の10時から放課後子どもプランの運営委員会がございましたので、私と、あと大久保さんも別な形で出席されておりましたので、簡単ですけどもご報告をさせていただきます。

話し合われた内容については、進捗状況ということで、28年度よりも、やはり放課後子ども教室に参加する参加者数は増加しているということ、あと、学童のお子さんたちも、放課後子ども教室に参加されている方も増えてきているということで、今後、放課後子ども総合プランというものがございまして、平成30年度までに小

金井市からも計画を出さなくてはいけないということで、今後、学区の中での協議会が新たに設置されるという方向の話がありますので、そのあたりのことにつきまして、生涯学習課と児童青少年課でいろいろと、今検討されている状況であるということがございました。

そのほかは、それぞれ皆さん、ボランティアの方がやはり不足しているということで、それぞれの子ども教室で募集をされるということで、また、5、6年生にジュニアボランティアということで募集をされるという話もございまして、人としては、やはり不足されているというお話で募集されるということがございました。

簡単でございますが、以上のようなこととなります。次回、また10月に開催される予定です。

原嶋議長 ご苦労さまです。ほかに報告等も含めてありますか。

西田生涯学習部長 では、すいません。

原嶋議長 どうぞ。

西田生涯学習部長 今日、公民館長が公務出張のため欠席でございますので、私からご報告だけさせていただきたいと思っております。

今配らせていただいた書類でございますが、公民館中長期計画の策定ついて（答申）でございます。本件につきましては、平成28年1月21日に社会教育法第29条第2項の規定に基づき、公民館長から公民館運営審議会に対して諮問していたものでございます。7月20日に館長宛てに答申がございましたので、そちらに配らせていただいたものでございます。目次のほうに書いてありますとおり、5つの大きな項目により構成されているところでございますが、詳細は資料をごらんいただきたいと思います。

昨日開催された教育委員会におきましても、ご報告をさせていただいたところでございます。中身と市の財政状況について、どういふふうに取り上げていくのかというお話も、その際感想としていただいております。

今後は、本答申に記載された思いや内容の趣旨を十分に受けとめて、大まかな公民館のあり方の検討、そして、個別具体の中長期計画へつなげていきたいと考えているということでございます。

今配ったところでございますので、中身につきまして参考までにごらんいただければと思っております。

以上で、中長期計画策定についての答申をご報告申し上げます。それから、もう1つ続けてよろしいでしょうか。

原嶋議長 はい。お願いします。

西田生涯学習部長 小金井市議会定例会、平成29年第2回定例会のご報告でございます。簡単に申し上げます。

第2回定例会におけます生涯学習部関係の議案はございませんでした。一般質問につきましては、私どもの関係で9人の議員の方から質問がございました。

具体的な中身につきましては、今後小金井市ホームページにおきまして公開されますので、ごらんいただければと思いますけれども、吹春議員からオリンピック・パラリンピック関係、村山議員から小金井桜の関係、河野議員から図書館の現状についての問い合わせ、板倉議員につきましては公民館関係、それから、水上議員につきましては図書館関係、紀議員につきましても公民館の関係の設備についてのご質問、湯沢議員に関しましては、子育ての関連性からスポーツに関するご質問がございました。渡辺大三議員からは、図書館、公民館についてのご質問がございました。坂井議員からも公民館の質問がございました。

以上9名の方からのご質問がございましたが、私の他各課長を中心に答弁をしております。ご確認いただければと思います。

また、厚生文教委員会の関係でございますけれども、陳情が2件ございます。JR高架下にバリアフリーのスポーツ施設を建設していただくための陳情書及び公益財団法人小金井市体育協会への補助金交付の一時停止を求める陳情書の審査が行われまして、いずれも継続審査となりました。

次に、行政報告についてですが、生涯学習関係では2件、生涯学習課から、武蔵小金井駅南口第2地区市街地再開発事業に伴う発掘調査及び見学会について、及び図書館から、図書館本館の空調設備工事についてということでご報告をさせていただきました。

以上でございます。

原嶋議長 そのほか、今の報告について。

石田委員 2つあります。科学の祭典のブースの発表と、それから駐車券、その他、またメールで送られてくると思いますので、そのときに小堀さんから会議の皆さんに発信して送りますのでお願いいたします。

もう1つは、図書館のほうで、きたまちセンターと東分室のNPOに対する評価があったんですが、私はその際、欠席しております。館長さん、いかがでしたでしょうか。

菊池図書館長 では私のほうから。

石田委員 すいません、突然で。

菊池図書館長 センターをNPOのほうに委託しておりますけれども、それぞれ

図書館事業の部分と公民館の部分の事業とありましたので、図書館のほうは8月17日に、実際に図書館協議会の委員さんが各分室に行っていただいて、現地で現場を見ながら、あとは実際に運営されている受託者に質疑等を行いながら評価を行ったところでございます。今、評価の集計結果を集計中でございますので、集計でき次第ご報告、公表してまいりたいと思っております。

貫井北は今回で3回目になりまして、平成26年度、27年度と29年度にやっているんですけども、昨年やらなかった理由としては、東のほうは平成27年の8月から委託していますので、直営館から年度途中で引き継いだということがありますので、その部分は事業が中途半端ということもあったので、28年度当初からの事業についてを1年間評価したということになります。

あわせて、両館で来館者アンケートをしております。こちらは配布枚数が、今数字を持っていないんですけども、北と東とで若干差があるんですが、おおむね好評だったかなというところはあります。そちらのほうもあわせて公表させていただきたいと思っております。

図書館につきましては、今回、協議委員さんのほうから一旦評価について勉強会をしたいというお申し出がありましたので、勉強会のための協議会を1回開いてから評価を行っていただいた形になっています。

公民館のほうも、あわせて同じような時期でアンケートと、あとは評価をしていると伺っています。

以上になります。

石田委員 すいません。

原嶋議長 よろしいですか。

石田委員 はい。欠席しましたので。

原嶋議長 報告事項なければ、よろしいですね。
それじゃ、なければ終わりたいんですけども、よろしいですか。
どうもお疲れさまでした。終わります。